

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

MELDIA



働 く 学 ぶ

障がい者と共に

障がい者と共に

障がい者を応援!

Sign with Me×大矢真那

布施博による取材 布施博が訊く

ゆたかカレッジ横浜キャンパス×布施博

MELDIA Café

第3回MELDIA Café開催詳報

人気連載エッセイ 障がいのある息子と私

水越けいこの「M size／はじまり」

就労支援施設探訪

hikari no café大田原市庁舎店

月刊メルディア
VOL.19
TAKE FREE

MELDIA 2019 JULY VOL.19

月刊MELDIA VOL.19 2019年5月25日発行(毎月1回25日発行) 第19号 通巻19号
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA
GROUP

同じ家は、つukらない。



メルディアグループ

<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計
〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F

25th
ANNIVERSARY

まだ25年、
これからのメルディア

空間を彩る手話とスープ

Social Cafe Sign with Me

特別なひとときを愉しむ

聴覚障がい者のオーナーとスタッフが 働くスープ料理が主体の「手話カフェ」



Social Cafe Sign with Me
 ソーシャルカフェ サインウィズミー
 [本郷店] 東京都文京区本郷5-23-11 野神ビル2F
 [春日店] 東京都文京区本郷4-15-14 区民センター1F
<http://signwithme.in/>



同店のオーナーで一般社団法人「ありがとうの種」の代表も務める柳匠裕さんに、大矢真那が開店までの経緯や運営のエピソードを聞いた。

取材での会話方法は機械などを駆使した筆談がメイン。大矢は最初こそ戸惑う場面が多かったが、慣れるに従い身振り手振りも交えたコミュニケーションの面白さに気付くまでになった。

東京都文京区内に2店舗を構えるカフェ「Sign with Me」がある。店内でお客様とスタッフがコミュニケーションを取るために使われるのは手話と筆談。同店で「公用語」とされている。

実はこのカフェ、オーナーをはじめ、ここで働くスタッフの全員が聴覚障がい者なのだという。

注文は指差し、スタッフもお客さんもジェスチャーによってお互いに意思疎通を図る。随所にホワイトボードも用意されていて、これを使って筆談も出来るようになっている。





大矢 真那
Masana Oya



メインメニューであるスープはどれも具沢山で種類も豊富。パスタやワンプレートメニュー、スイーツまであり女性にも嬉しいラインナップが揃っている。

大矢 それで今のお店を開店されたわけですね。でも営業が軌道に乗るまでは色々大変だったのではありませんか？

柳 当初は「得体の知れない店」と敬遠されていました。だから、ランチチャイブというメリットを生かして、自分か



くらいやって、その後、子どもが生まれたんですが、その子に自分と同じ聴覚障がいがあると分かったんです。そこで、子どもの教育のためには都会の方が良いなということで地方から戻りました。そして障がい者専門の転職・人材紹介会社に職を得たんですが、リーマンショックで会社が傾いてしまったので、退職して起業に踏み出しました。その時に考えていたのが、私たち聴覚障がい者の当事者の問題は当事者自らが動かない限り本質的な解決は望めないということ。そしてそれが達成できる事業は何かと悩んで街中を彷徨っている時にあるインド料理店と出会ったんです。

大矢 そこで事業に繋がるヒントが何か見つかったというわけですか。

柳 はい。そのインド料理店はスタッフ全員がインド人で、誰も日本語を話せず、もちろん筆談さえできません。最初は「おいおい、ここは日本だろ？」と思ったんですが、あまりにも料理が美味しくて私自身がリピーターになってしまったんです。それで気付いたんですね。言葉が通じなくても商品が良ければ商売ができる。職域も作れると。

大矢 そして今のお店に繋がるわけですね。でもなぜスープだったんですか？

柳 当時は東日本大震災の直後で、とある避難所で配食されたトン汁に被災者がとても感動しているシーンがテレビに映ったんです。おにぎりばかりの中、トン汁やコンソメスープは栄養があるし、体も温まると放映されていたのが印象に残っ

お客さんの意外な反応から障がいを持つ価値に気付く

大矢 私「世界を救うならスープだ！」って思い、すぐ動いたんです。でも、調べるとスープほど難しい料理はないっていうことに気づいてしまいました。

大矢 そんなに難しいですか？

柳 例えばコンソメスープを作るのに、野菜や鳥ガラから抽出するだけで2〜3日掛かります。コンソメスープを作れば、いろんなスープに応用できるんです。スープ作りの難しさを実感していたところに、長野に本部を置くスープの会社がランチチャイブ募集していて、それに応募したら契約出来たんです。



一般社団法人
ありがとうの種
柳 匡裕さん
Masahiro Yanagi

珍しい営業形態そのヒントは外国人ばかりが働く飲食店

大矢 今日はよろしくお願いします。

柳 よろしくお願ひします。あまり意識しないで普段どおり、話して下さい。まだまだ音声認識の精度は高くないので誤変換がどんどん出ますが、そこは気にせずにどんどん話してください。改めて私が当店の代表を務める一般社団法人ありがとうの種代表の柳です。よろしくお願ひします。

と、こんなやり取りから対談は始まった。今回は聴覚障がいのある人との対談。そこで、大矢はスマホに向けて話す。すると、音声認識ソフトを

柳 はい。私は栃木県出身で、周りに大人の聴覚障がい者がいなかったの、なぜか漠然と「自分は大人になったら死ぬのかな」と思い込んでいた少年でした。中学は千葉にある国立大学附属学校に通っていましたが、聴覚障がい者ということで大学への進学は断られてしまったので、デザインを学んで出版社に就職しました。その後、体を壊して退職して、1年くらい日本を脱出して東南アジアを放浪したりしていましたが、その時はひどい目に遭いました。

大矢 どんなひどい目に？

柳 今だったらネットで情報を集めて、楽しめるんだらうけど、その時は周りから「旅行に行くならガイドブックを持って行くな」、「ノーガードでいくのが基本だ！」と言われたのをそのまま信じ込んでしまいました。その当時に治安があまり

介して先方のパソコンに文字として現れるので、それに対し文字を打って返してもらうと今度はこちらのスマホにその文字が現れる。対談はそんな風にして行われた。

大矢 まずは柳さんの経歴について教えて頂けますか？

柳 はい。私は栃木県出身で、周りに大人の聴覚障がい者がいなかったの、なぜか漠然と「自分は大人になったら死ぬのかな」と思い込んでいた少年でした。中学は千葉にある国立大学附属学校に通っていましたが、聴覚障がい者ということで大学への進学は断られてしまったので、デザインを学んで出版社に就職しました。その後、体を壊して退職して、1年くらい日本を脱出して東南アジアを放浪したりしていましたが、その時はひどい目に遭いました。

お借りしたスマートフォンには柳さんからの返事が文字になって表示される。会話が成立しているその姿は実際に話しているようだ。



※編注／取材時に採録した音声変換後のテキストを基に取材内容を構成しています。被取材者・柳さんの発言部分は取材時にご本人が入力したテキストを可能な限りそのまま掲載していますが、一部で言葉を補うなどの加筆をしています。

良くなかったタイ・ミャンマー・ラオスの三角地帯に迷い込んで1週間くらいゲリラに軟禁されたり恐怖の連続でした。

大矢 ええーっ！ 無事でよかったです。

柳 ゲリラにしてみれば、私には利用価値が無かったんでしょうね笑

大矢 それからはどうなされたんですか？

柳 帰国後は車いすユーザーのための車両研究開発を地方で10年



一般財団法人メルディア

MELDIA

おかげさまで「一般財団法人メルディア」は設立1周年を迎えることができました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2019年5月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対するの支援を行っています。



01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにも紹介していますので、是非そちらも併せてご覧ください。



05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。観戦チケットをご希望の方は巻末の「チケットプレゼント」のページに記載の要項をご覧のうえ、ご応募ください。



障がい者を応援

Social Cafe Sign with Me



柳 今11人のスタッフがいますが、もちろんすべて「手話者(手話が出来る聴覚障がい者)」という条件で集めました。当店では聴覚障がい者であるかどうかという区別はしてないんです。スタッフの募集時に求める条件は手話者であるかどうかだけです。

大矢 お客さんの評判はいかがですか？

柳 お店は比較的近い場所にもう1店舗ありますが、共通するのは静けさを求

める人が多いことです。お客さんが「ここは静かが良い」とよく仰るんです。これは私も意識していなかったのでびっくりでした。逆に言えば、街中のカフェはいかにうるさいかということですよ。そうやって私たちの「障がい」が逆に「価値化」されるんだなと実感しましたね。

大矢 東大がすぐ目と鼻の先にありますが、この場所を選んだのにも理由があるとか。

柳 なんだかんだ言っても今も昔も社会を創る人材を輩出する最高学府が東京大学ですから、彼らに手話の存在を知って貰いたいというのがありますね。今の学生が社会的発言力を持つ頃が、私の子どもが成人する頃です。その時に、手話でのびのびと活躍できる社会

らメディアにどんどん売り込んだんです。おかげで今では海外からも取材の依頼が来ることもあります。一番遠いところではブラジルからテレビの取材が来たこともありました。

大矢 スタッフさんはどう集めたのですか？



スマートフォンの他にも筆談でのコミュニケーションが出来るので、手話が出来なくても大丈夫。

取材後記

単に障がいのある人たちが働ける場所を作るといことだけでは足りないというのが取材の中から分かりました。しかも、「福祉」という観点から店舗を運営するのではなく、「ビジネス」として運営して行くという部分が印象的でした。障がいの当事者意識の問題だけではなく、お店のロケーション選定などでも将来を見据えて考えている柳さんの姿勢を見ることが、とても勉強になる取材でもありました。



お客さんとスタッフとの、コミュニケーション用となっているホワイトボード。お互いの気持ちが伝わりあっているのがよく分かる。

取材/大矢真那

を私たち大人が作る責任があると思ったからです。とにかく手話者が輝く場所を当事者の手で作るということに一番こだわりました。

ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰しも人生は一度しかないものです。

その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。

■ 財団概要

名称 一般財団法人メルディア
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)
設立者 小池信三
設立日 2017年5月23日

所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F
電話 03-5381-3213
URL <https://meldia.org/>
MAIL org@gf-meldia.com



MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>





「ゆたかカレッジは選択肢の一つであれば良い」という小林さん。人生の中でやりたいことを見つける時間というのは誰にとっても必要なものだ。(布施博)

障がいがある人の社会参画は日本の将来から見ても重要だ

布施 小林さんは元々どのような仕事を？
小林 いくつかの特別支援学校で働いていました。その間には何校かで校長を務めたこともありますが、他にも教育委員会に入って特別支援教育に関してを担当していた時期もあります。
布施 特別支援教育の現場の最前線で働いていたんですね。こちらが運営している「福祉型大学」というのはどのような施設なんですか？
小林 特別支援学校の高等部を卒業した知的障がいのある子たちを対象にして、ここで4年間の高等教育を受けてもらっています。
布施 いわゆる「大学」という感じですよ。でも、障がいのある子たちに向けた大学というのは

これまで聞いたことがありませんでした。
小林 こういう形態の学校は「ゆたかキャンパス」が先駆けだと思います。私が知る限り、国内でも他には無いと思います。
布施 そうなんですか。それは意外でした。
小林 そもそも、欧米などでは福祉施設ではなく、一般の大学に知的障がいのある子たちが勉強するための枠を用意している所もあるんです。それが国内にはまだ存在していません。諸外国の大学と同等というわけにはいきませんが、ここがそれに準ずる場所として在れたら良いと思っています。
布施 ここではどのようなカリキュラムが組まれているんですか？ やはり「社会で活躍できるよつに」といった趣旨ですか？
小林 そうですね。パソコン関係の授業もありますし、社会性やライフスキルの向上のための取り組みもあります。障がいのある子たちが社会で活躍し、公私共に豊かであるようにと、多面的にカリキュラムを組んでいます。
布施 ライフスキルの向上というのは？
小林 例えば利用者さんたちの余暇の使い方についてです。今日、この取材が始まる前に私は横浜キャンパスの利用者さんと一緒に図書館に



布施博 × ゆたかカレッジ横浜キャンパス (株式会社ゆたかカレッジ) 神奈川県横浜市

障がいがある子たちのための大学校「ゆたかカレッジ」障がい者の社会参画の重要性と意義を関係者に訊く



「福祉型大学」という形の施設を九州と関東に展開しているのが株式会社ゆたかカレッジだ。19年4月には横浜、川崎、江戸川の3キャンパスが続々オープンし、中でも横浜校は障がいのある子たちの家族などによる誘致によって開かれたという。各校での授業を体験するオープンキャンパスは人気で、場所によっては参加までに3ヶ月待ちの状態だという。障がいのある子たちが高等支援学校の卒業後に直面する問題と、同社が「大学」を運営する意義についてを俳優・布施博が訊く。

行っていたんです。大抵の場合、色んな施設を利用するには事前に何かしらの登録が必要だったりします。それらを自力で出来るようにと教えています。
布施 施設の利用までを自分で行えるようになれば、生活の選択肢が大幅に増えて、余暇の質を向上させられると。
小林 そうです。他にも、例えばカラオケに家族と一緒にいくということはあるのかもしれませんが、それは「余暇を過ごす」とは少し意味合いが異なります。「自分が行きたいから行く」と自律的・自発的に行くことが出来るようになるというのがポイントですね。
布施 社会に出るといっことは、仕事出来るようになるだけでなく、ストレスの解消法なども自分で見付ける必要がありますからね。



ゆたかカレッジ横浜キャンパス
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町4647
内田ビル2階
<https://yutaka-college.com/>



障がいはい
特殊なこと
ではない
社会の中では
少数派なだけ

株式会社ゆたかカレッジ
顧問
川口 信雄さん



株式会社ゆたかカレッジの顧問を務める川口氏にも「障がい」についての考えを聞いた。

「人の心を感じることが出来ないとか、空気を読むことが出来ないだとか、それが理由で『障がいがある』と言われてしまいます。でも、逆に言えば、それを『特殊だ』と感じてしまうのは、出来る人の方が社会では多数派だから、というだけなんです。例えば、私が障がいのある人たちの中に入って話をしている時は、私こそが少数派です。気を使って話すとか、気持ちを探るだなんてことをしたら、彼らはむしろそれに違和感を抱くだろうと思います。障がいのある人たちというのは、簡単に言うとただの少数派なだけであると思うんです。社会の中で、多いか少ないか、それだけのことなんです」(川口氏)

また「進路を慎重に選ぶべき」という小林氏の意見についても川口氏は体験談を語った。

「私の教え子だった知的障がいのある女性が、子供好きだということで保育園で働きたいと言い、見事にその目標を達成しました。数年経った今でも園児たちと良好な関係を築いて、お互いに良い影響を与えています。園児たちも小さい頃から障がいのある人と接することで、必ず良い影響を将来に及ぼすでしょう。そんな姿を見ていると本人が何をしたいか、本人のためにも、社会のためにも、周囲がじっくりと考えていくべきだと強く思いますね」(川口氏)

「何をしたいのか考える時間がない」。流されるままに自分がやりたいと望んでいるのかも分からない進路を進む。

それでは誰も得をしないだろう。時代遅れだとすら感じた。やりたいことだけやるわけにはいかないが、何をやりたいかは知っておくべきだ。やりたいことをやっている人が一番輝いているし、周りをも輝かせるのだから。

(布施博)

するシステムになっているんです。布施 そうですか。一般学級とは教えるためのノウハウが違って来るはずですからね。小林 この件については我々の業界ではよく課題として議論されます。可能な限り速やかに日本でも障がいのある人を教育できるスペシャリストを育成するシステムを導入すべきだと私は思っています。これは喫緊の課題だと思います。

取材／布施博



教室内は生徒らが授業を受ける時に視界に入る情報を減らせるようにと窓側を背にするよう席の配置を工夫したとか。こういう配慮ができるのが素晴らしい。(布施博)

障がい児教育専門教員の不足
それは我が国の課題でもある

小林 誰だって仕事だけをやり続けるのは無理ですから、余暇の使い方の練習は一般的に思われているより重要な部分だと思いますよ。布施 ゆたかカレッジを利用することによる最も大きい利点はなんですか？小林 利用者さんたちに時間的な猶予が出来るという部分だと思います。

布施 時間的な猶予ですか。小林 現在、高校を卒業した子たちの大部分は大学に進学します。その子たちの中には、将来やりたいことが決まっています、より専門的な勉強をするために大学へ、という子が多数だと思います。しかし、多くの場合、自分のやりたいことが決まっておらず、それを見つけたら時間が欲しいために大学へ進学するのではないのでしょうか。

布施 そういう子たちが多いと思います。小林 現状、特別支援学校を卒業した子たちはすぐに就職ないし就労移行支援施設、または福祉施設へ行くというのが殆どなんです。障がいのある子たちには時間的な猶予が非常に少ないんです。もちろん卒業のタイミングで本人の進みたい道が決まっています、その受け入れ先が決まっています。

という場合は問題ありません。でも、誰もが望んだ通りになるわけではありません。

布施 むしろ障がいがあることも考慮すれば、卒業後の進路はより慎重に決めたいですよね。小林 その通りです。障がいのある子たちが自身の特性を見極めるためにも、進路を選ぶための『時間』が必要なのだと思います。

布施 当事者や家族にとっても、進路の選択肢が増えるのは心強いと思いますよ。

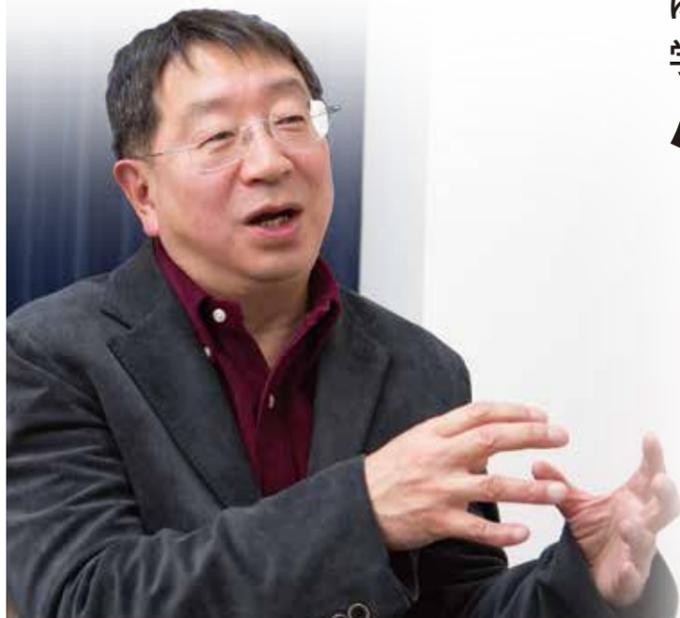
小林 私は国内の障がいを取り巻く環境については「まだまだ」だと考えています。障がいのある子たちが社会に出た時に活躍できるようにという取り組みがもっと多く必要だと思っています。布施 小林さんとしてはどのような面が「まだまだ」だと考えますか？

小林 まず思い付くことはといえば、現在の小中学校の特別支援学級を担当する先生たちのシステムについてですかね。日本では一般の教員免許のみで特別支援学級を担当することが可能です。現在の特別支援学級を担当する先生たちを否定するつもりは全くありませんが、欧米などではスペシャリストが日本と言う特別支援学級を担当

ゆたかカレッジ横浜キャンパス
学院長

小林 靖さん

Yasushi
Kobayashi



Hiroshi
Fuse

俳優

布施 博





**取材陣によるトークショー
今だからこそ分かる心の変化**

桜も終わり、周囲の木々が緑を増した4月21日、本誌の発行元である一般財団法人メルディアの主催による「メルディアカフェ」が千代田区にあるプラザエフで開催されました。

イベント当日は天候に恵まれ、まるで初夏のような陽気。この陽気に照らされながら、本誌の読者を



一般財団法人メルディア事務局
後藤 正善

MC 右手 ナギ



一般財団法人メルディア主催

MELDIA Café

第3回「MELDIA Café」開催

多くの来場者と福祉事業所の協力があったからこそ実現

一般財団法人メルディアが行う活動の一環として、また「障がい」や「障がい者」に対する理解や認知を拡げるべく開催されているのが「MELDIA Café」です。

このイベントは、一般財団法人メルディアおよび同財団の広報誌として刊行されている「月刊MELDIA」と、読者の皆様との距離を縮めると共に、活動報告の場として、意見交換の場として、不定期に開催されています。

障がいの当事者、それを支えるご家族と、社会的な支援を行う事業所や企業などを繋げるべく開催された同イベントの様子を私・大橋はるかがレポートします。



始めとして、一般の来場者や出演者のファン、福祉関連団体の人々など多くの観覧者に来場して頂きました。

——さて、開演です。一般財団法人メルディア事務局の後藤正善による挨拶でイベントのスタートが告げられました。

今回の「メルディアカフェ」では、これまでに催した内容とは趣向を少し変え、トークショーとトークセッションなどによる情報発信が主たる内容となりました。

本イベントは全2部構成。第1部では、これまでに取材した人々からのビデオレターの上映と、本誌の取材をしている布施博さん、大矢真那さん、そして本誌の連載でもお馴染みの水越けいこさんによるトークショーがMCの右手ナギさんの進行により行われました。

右手 月刊MELDIA以下、MELDIAを創刊して1年半が過ぎましたが、まず最初、本誌から声が掛かった時、どう思いましたか？

布施 お恥ずかしい所、僕自身は障がいのある人達についての知識が少なかったんで、多少は不安な部分もありました。でも、何回も取材をしていくうちに、僕の中で障がいについて考える比重が増えて行きましたね。

水越 一般財団法人メルディアは障がいのある子どもたちの未来を見据えた多角的な応援をされているので、その広報誌・MELDIAが発行されるのを聞いた時、障がいのある子どもを持つシングルマザーとしてとても喜ばしい気持ちになりました。

大矢 布施さんと同じく、MELDIAの取材に

行くまで障がいのある人々についての知識が少なく、「本当に私に務まるのかな？」と、不安な気持ちがありました。

右手 なるほど。MELDIAに携わるようになってその気持ちに変化はありましたか？

大矢 もちろんです。取材に行く先々で、障がいのある人たちの明るい笑顔を目にする事が多くて、取材に行っている私の方が元気を頂く事が多いんです。だから、私も彼らを見習って、「誰かに元気を届けられるようにならなきゃ」と思いながら取材をしています。

——他にも、印象に残った取材先での出来事や、取材での真話など、時には笑いも交えてトークを繰り広げてくれた3名。来場者の皆さんも楽しんで話を聞いている様子でした。

トークショーに出演した3名に直接お話を伺いました。

「自分の今までの経験や、取材を積み重ねて来て思った事や感じた事、誌面ではお伝えできなかったことを皆さんにお話しする良い機会だったと思いますね（布施さん）」

「人前で歌ってトークするというのには慣れていないつもりでしたが、トークだけという機会はこれまでにあまり経験が無かったので、すっごく緊張しました（笑）でも、楽しく話せて良かったです（水越さん）」

「MELDIAの取材で得た経験を活かして、私自身がインフルエンサーとなって若い世代の人たちにもっと障がいについてを知って貰いたいと思います（大矢さん）」

毎回好評の即売会も同時開催
買い物を楽しむ来場者さんたち

第1部が終了し、休憩タイムに。来場者の皆さんには飲み物が振る舞われました。飲み物のアテンドをしていたのは、リーグ・湘南ベルマーレの「ベルマーレクイン」としても活躍されている、別所あみかさんと山間あゆさん。来場者の皆さんと楽しくコミュニケーションを取りながらも、会場に華を添えています。

そして、メルディアカフェでは毎回お馴染み、来場者さんたちに好評の「メルディアマルシェ」も同時開催されました。

「社会福祉法人東京ムツミ会フロア」さんのコーナーでは同所の利用者さんが制作した七宝焼きのアクセサリーや雑貨を販売されていました。来場者さんたちの中にもこの七宝焼きのファンがいっぱい。前回のメルディアカフェで購入したという犬のブローチをつけて参加されている方もいました。今回は、新作として誕生石風アクセサリーの販売もありました。

「コンフィデンス早稲田」さんでは、小ぶりでも可愛い「早稲田's 愛せんべい」と、ライスパフの入ったチョコを販売していました。ピンク色の梅味や緑色の抹茶味が目を引く同商品ですが、特に人気なのは、ざらめせんべいと、定番の醤油せんべいだそうです。今回は全種類が1枚つづつ入ったミニセットが100円というお手頃価格で販売されており、売れ行きも好調な様子でした。不肖、私も買ってしまいました。「株式会社。パソナハートフル」さんでは、同社が

学校を卒業した方を対象にした学びのための「福祉型大学」を運営する「株式会社ゆたかカレッジ」の代表取締役社長の長谷川正人さん、障がい者就労移行支援事業所の「ウエルビー株式会社」就労移行支援部・スーパーバイザーの永野周平さん、そして一部に引き続き、布施博さんと水越けいこさんです。パネルトークでは、4名それぞれの立場から福祉にまつわる様々な話を熱くじっくりと語って頂きました。

長谷川さんには、自身の運営する「福祉大学」を開校するに至った経緯や、自身も障がいのある子どもを持つ父親としての思い、これからの障がい者雇用のお話と障がい者権利条約についてを詳しく語って頂きました。

「新しく来る令和の時代は障がい者にとつての希望となる時代になりたい」(長谷川さん)

就労移行支援事業というサービス(事業)を分かりやすい口調で詳しく説明して頂いただけでなく、MELDIAの刊行にも触れて頂いたのはウエルビー株式会社の永野さん。

「これからの時代は、障がいのある人や福祉関連事業者や法人の視点だけでなく、一般の人たちの目線から障がいについての情報を発信するMELDIAのような媒体がとても大事になると思います」(永野さん)

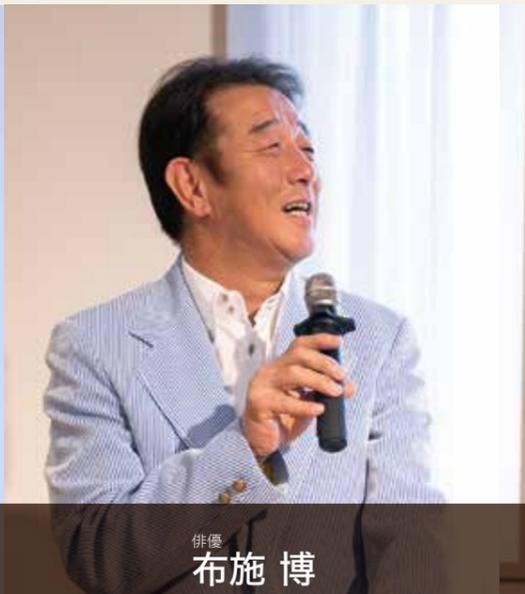
障がいのある子どもを持つシングルマザーとして、自身と息子さんの将来の不安を訴えたのは水



ライター
大橋 はるか



女優・タレント
大矢 真那



俳優
布施 博



シンガーソングライター
水越 けいこ



ウエルビー株式会社
就労移行支援部
永野 周平さん



株式会社ゆたかカレッジ
代表取締役
長谷川 正人さん



運営する「ゆめファーム」で栽培された新鮮野菜を各種陳列しての販売。本イベントではなんと開催日の朝に収穫されたタケノコを使った炊き込みご飯や、シウマイやきんぴらごぼうといった総菜の販売、自家栽培の菜種から絞った手作りの菜種油も販売されていました。来場された多くの人が手に取り、買い求めているのが目に留まりました。

それぞれの立場からの目線で
福祉の現状と未来を熱く語る

和やかな休憩時間が過ぎ、第2部のスタートです。ここからは、MCが右手ナギさんから一般財団法人メルディア事務局の後藤正善に代わり、「福祉の今と未来をつなぐ」新しい元号を迎えて福祉にのぞむ未来をテーマにした、パネルトークが行われました。パネリストとしてお迎えしたのは4名、特別支援

越けいこさん。

「これからの福祉サービスへの希望としては、いつか自分が入るかも知れない老人ホームと障がいのある子どもが同じ施設内で暮らせるような場所が欲しいですね」(水越さん)

布施さんは、一般財団法人メルディアとMELDIAに携わる一人として「今後もMELDIAは精力的に部数を伸ばして多くの人の目に触れる機会を増やし続けて行かねばならないと思います」と檄を飛ばし、続けて「障がいのある人を特別視しないで誰もが同じ市民の一人であるという意識を多くの人が持つことが必要」とも語ってくれました。

予定の時間をオーバーして繰り広げられた舌戦の全部を紹介するには文字数が足りません。涙を呑んで割愛させて頂いた部分は一般財団法人メルディアのSNSや後日公開されるであろう動画ダイジェストをご覧頂くことにして、熱い論戦と喧々諤々の議論も交わされた今回のメルディアカフェも好評のうち閉幕となりました。

最後に、一般財団法人メルディア事務局の鷺坂浩章にも感想を聞きました。

「観覧と参加を頂いた読者の皆さん、協賛と協力を頂いた皆さんに感謝します。ご参加の皆さんに充実した時間を過ごして頂くこと、準備に時間を掛けました。今回も来場者のたくさん笑顔が見られたのが何よりの収穫です。次回も新しい趣向を織り込んだ楽しいメルディアカフェを開催したいと思います」(鷺坂)



はじまり

水越けいこ連載

19



シンガーソングライター
水越 けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

新しい環境の「はじまり」 再び就労移行支援事業所へ

ダウン症の息子・麗良(れいら)は、これまで通っていた就労移行支援事業所を2年の契約満了に伴い、3月末で退所して、4月からは別の事業所に通っています。

新たにお世話になった事業所は、自宅から遠くない距離にあり、しかも、これまでに通っていた事業所の環境と似た洋風の一軒家のような建物です。あまりにも掛け離れた環境だと、そこに慣れるまでは精神的な負担が大きいはずなので、息子にとっては良かったと思います。

ここでは、「就労継続支援B型」という制度に基づき、事業所に通うことが可能な期間の上限は設けられていません。事業所での訓練を重ね、将来の就労を目指す、という形態です。

現代の若者も魅了する芸術性 優れた音楽は世代を超える

4月の中旬に、長野県の松本市と長野市でコンサートを開催しました。満開の桜を都内で堪能していましたが、長野では桜の開花状況が関東よりもいくらか遅いせいか、今年は期せずして2回も満開の桜を楽しむことができました。

地方で行うコンサートには、息子・麗良と一緒に連れて行くことが多くなったことを、これまでも書きましたが、今回の長野にも同行させることになりました。

息子と一緒に地方へ出かける時に考えなければいけないのは交通手段のこと。電車で行くのか、自動車で行くのか、その移動手段を考えなければいけません。

就労を目指すことを目的に通うため、少額の工賃と交通費は支払われますが、生活全般を賄うほどの給料はありません。

それでも、デイトタイムで仕事が出来る環境に息子が落ち着けたことには、母親としては少し安心しています。

以前にも書きましたが、息子の通所先はなかなか決まりませんでした。今回の決定には、息子自身の頑張りと私の努力もありましたが、何よりも読者の方々の応援の声と、多くの方の力添えがあったからに他なりません。心配して頂いた皆さんにこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

この事業所では、昼食時には業者から惣菜だけは配達して貰うようですが、ご飯とお味噌汁は温かいものを提供したいとの考えがあり、同事務所内で手作りしているのだそうです。通

ればいけません。しかし、彼は自動車に乗る事が大好きで、敢えて言えば車内で音楽を聴きながら歌うことが大好きです。

今回の長野行きが決まった時、「今度、長野まで行くんだけれど、たまには電車で行くか」と聞くたびに「僕は自動車が大好き」と即答する始末。毎回がこんな感じなので、自動車での移動が可能な距離の場合は息子の希望を尊重することが多くなります。

このような事情がある事を、私のサポートをしてくれるスタッフやミュージシャンの人たちも理解してくれていて、嫌な顔せずにはロングドライブにも付き合ってくれます。

移動の車内は「DJ REIRA」が選曲する音楽と、息子の歌声、そして快活な笑い声と笑顔に溢れる空間になっています。

今回の長野でのコンサートには、20代のピアニストである小岩さんが参加してくれました。小岩さんも私たちと一緒に自動車移動したのですが、息子とはたった3歳違いということ、また音楽の嗜好が似ていることもあって、同世代の2人で盛り上がりつつ、更に賑やかな車内となりました。

小岩さんは見た目に違わず優しい人柄で、周囲にもきちんと気が使える好青年です。息子が好きなアーティストの逸話や、知られざるエピソードを丁寧に解説してくれました。息子はそれらの全部は理解できていないようでしたが、

所する人たちの将来に役立つよう、簡単な食事の作り方を見て、字ばせるといった意図もあるようです。

また、この事業所系列のレストランで毎週金曜日に研修を兼ねて働けるようにもなりました。息子はこれまでにも、区役所内にある売店で接客業務を経験していますが、新たなスキルが備わるのではないかと期待もしています。

息子の場合、人と会話したり、コミュニケーションを取る事が上手なようなので、得意な部分に更に伸びてくれるのではないかと期待しています。

これからも努力を重ねる息子への弛まぬサポートを続けたいと思います。それでは早速ではあります、母は息子が働くレストランにこれから行って来ます！

話しを聞きながら「へえ！ 凄い！」「知らなかった！」を連発していました。

母として、また私の音楽に携わるスタッフとして2人の成年を俯瞰で眺めていて感じたことがありました。この20代の若者2人が熱く語り合っている音楽は、私たちの世代がリアルタイムで聴いていたものです。それを若い彼らが世代を超えて共有してくれているのです。

とてもエネルギーが凄く私たちが感じていたあの頃の音楽の力が、時代を経ても決して褪せることなく芸術性を発揮し続け、現代の若者も魅了し続けているのであると。

Keiko Mizukoshi SUMMER TOUR 2019

7月6日(土)	長崎 旧香港上海銀行長崎支店記念館
7月27日(土)	名古屋ムジカ
7月28日(日)	大阪ロイヤルホース
8月11日(日)	横浜パラダイスカフェ
8月31日(土)	江古田マーキー

※開催詳細は水越けいこブログに掲載





障がい者就労と自立支援の ヒカリとなる飲食店が 市庁舎内で市民に憩いの場を 提供するカフェ開業

障がい者の就労と自立支援の場と位置付けた飲食店「hikari no café(以下、ヒカリノカフェ)」を運営するのが栃木県大田原市にある社会福祉法人のエルク福祉会です。

同福祉法人では05年に「ヒカリノカフェ本店」を、16年には廃校となった小学校を活用した「ヒカリノカフェ蜂巢小珈琲店」を開業。本誌でも既刊号で「蜂巢小珈琲店」取材しているので記憶に残っている方がいるかもしれません。

この4月、ヒカリノカフェの3店舗目となる新店が大田原市役所の庁舎1階にオープンしたとのこと。新庁舎内への出店は、運営先に障がい者の就業機会確保を条件とした「公募型プロポーザル(※1)」で選定されたものだといいます。

障がいのある人たちが働く様子取材すると同時に、公募により出店になったという経緯から現在までを聞きに、「ヒカリノカフェ大田原市庁舎店」を訪ねました。

※1:公募型プロポーザル(方式)／公募により、業務の委託先などを選定する際に複数の者(企業)に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者(企業)を選定する方式のこと。

hikari no café大田原市庁舎店
栃木県大田原市本町1-4-1 (大田原市役所1階)
営業時間/庁舎開庁日の午前10時～午後3時まで
<http://www.hikarinocafe.com/>



行政庁舎内の店舗で就労支援 既存店舗とは違う工夫も必要

関東の北部に位置し、平安期の武将・那須与一の出身地とされる栃木県大田原市。同市の市庁舎は11年の東日本大震災で被災し、長く仮庁舎で業務を行ってきたが、18年11月に待望の新庁舎が完成。19年1月から業務が開始された。

司の名手とされる那須与一が引き絞る弓のように力強い弧を描くイメージの新庁舎は、一部8階建て・延べ床面積は約1万平方メートルを誇り、災害時の防災拠点としても機能するという。この1階ラウンジに19年4月にオープンした「ヒカリノカフェ大田原市庁舎店」がある。

森 障がいのある人たちが働くカフェが市庁舎内に出来たのは栃木県内では初めてのことでとお聞きしました。

川上 はい。以前から栃木県内には各地の公共施設の中に「障がい者が働く飲食店がある」という例はありましたが、この大田原市のように、行政の本庁舎の中に出店するというのは、おそらく初めてだろうと思います。

森 今回の出店に際してはプロポーザル方式(※1)での公募が行われたそうですが？

川上 まずは、大田原市から新庁舎の1階に障がい者が就労するカフェの出店募集の公募があった、それに応募しました。企画書や予算計画書など必要な書類を作成して、大田原市の担当者の前でプレゼンテーションもしました。その結果、ヒカリノカフェが選ばれたんです。

森 なるほど。出店が決まって、開店までにはどれくらいの猶予があったのでしょうか？

川上 約4ヶ月です。その間にスタッフの選定、販売商品や提供メニューの考案、厨房機器や調理器具の発注、工事、各種の許認可手続きなどもありました。商品開発と提供指導を外部の専門家をお願いしたので、準備や教育などにも忙殺されて、あつという間の4ヶ月でした(笑)

森 既にカフェ2店舗を運営されているので、その運営方法や障がいのある人たちが就労するための環境整備・環境作りに対するノウハウをお持ちだとは思いますが、既存の2店と今回の新

店とで変えた所はありますか？

川上 今回の出店に当たっては、障がいのあるスタッフに新しい環境に早く慣れてもらうことを重視して、店内飲食よりはオペレーション(作業)の手数が少ないテイクアウトと物販のみのカフェとしました。障がいのあるスタッフが慣れ慣れてきたら、提供するカテゴリーを徐々に増やしていきたいと思っています。

森 他に工夫されたことなどは？

川上 これまでの店舗と違ってスペースが限られているので、サイズがコンパクトな厨房器具を選定しました。それと、障がいのあるスタッフが操作しやすいようにと、煩雑な操作を要求されない機材を導入する工夫もしましたね。

※正式表記は「hikari no café」ですが、文字レイアウトの都合上、本文中では「ヒカリノカフェ」と表記しています。





川上 はい。確かに良いことではあるのですが、困ったことに職員(健常スタッフ)が仕事を見付けるのに苦労する、という状況も時にはあるのだと聞きます(笑)

森 そこが「想定外」だったと?

川上 嬉しい誤算というか、障がいのあるスタッフたちの能力の高さが証明されたことでもあるので喜ばしいことです。

森 最後に、これからの展望や展開をお聞かせください。

川上 当福祉法人がビジョンとして掲げる「地域のヒカリとなり 福祉のヒカリとなる」を実現できるよう、ヒカリノカフェの認知度を更に上げるためにも、弛まずに努力をし続けたいと思います。信用される店作り・ブランド作りに進進して、障がいのある人たちの就労機会をもっと増やしていきたいと思っています。

テイクアウト中心の店だから ニーズに素早く応える工夫も

この「ヒカリノカフェ大田原市庁舎店」でマネージャー(店長)を務める中島寿江さんにお話を伺いました。

森 新店舗の責任者を任された時の気持ちはどうでしたか?

中島 不安はありませんでした。「みんなで力を合わせて笑顔で頑張れば何とかなる」という気持ち

ちの方が強かったです(笑)

森 それは心強い。それでも、開店を迎えるまでには大変だったこともあると思いますが?

中島 系列の蜂巢小珈琲店で職員として働きたがりのオープン準備だったので、ここ(大田原市庁舎店)と蜂巢との間に距離があるので、その往復が大変なだけでした。

森 川上さんにもお聞きしましたが、既存の2店舗と営業形態が違うことで工夫しなければならなかったことなどはありますか?

中島 本店も蜂巢小珈琲店も、お客さんに穏やかな気持ちでゆったりと時間を過ごして頂く場所であるし、障がいのあるスタッフが接客しているということをご存知のお客さんが多いので、例え



hikari no café 大田原市庁舎店マネージャー
中島 寿江さん
Toshie Nakajima

地域の特産品や旬の果物などを活かした新メニューを季節ごとに提供できれば良いと思っています。



hikari no café 大田原市庁舎店 スタッフ
室井 恵さん
Megumi Muroi

ヒカリノカフェ大田原市庁舎店でスタッフとして働く室井恵さんは「飲み物を作ったり、お客さんと接することが嬉しいので楽しく働いています」と話す。

取材&文/森清香



ライター
森 清香
Sayaka Mori

社会福祉法人 エルム福祉会
hikari no café 施設長
川上 聖子さん
Shoko Kawakami

ヒカリノカフェのコンセプトは写真や文章だけでは伝わらないので、ぜひこの空間に立ち寄って「何か」を感じて欲しいと思います。(川上聖子さん)

地域のヒカリとなる カフェで障がい者の 就労機会を増やす

森 新店舗をオープンするに当たって心配などはありましたか?

川上 場所が市庁舎の中だということでもこれまでの店舗に来店して頂いていた人たちと、ここに来店される人たちとは、「お客さんの層が違う」という部分で懸念がありました。

森 来店の動機がそもそも違いますよね。

川上 だから、開店するまでは「お客さんの動向がどうなるのか」が多少心配でもあったんですね。でも、いざ開店してみると、来庁される人たちが気兼ねなく立ち寄ってくださっているようで心配など無用でした(笑)

森 お客さんとスタッフさんがフレンドリーに会話を交わしているのを目撃しました。

川上 お客さん側から話し掛けて頂けることが多くて、そ

れがスタッフのモチベーションを高めることにもなっていますね。お客さんの中には既存のヒカリノカフェをご存知の人もいて、「ここ(市庁舎)も店が出来たんだ」と言われることが多いそうです。逆に、この市庁舎店を利用されたのがきっかけとなって「本店や「蜂巢小珈琲店」に来店されるお客さんも増えているようです。

森 地元の人たちに認知されているというのは嬉しいですね。

川上 スタッフに温かい言葉を掛けてくださるお客さんが多いことや、顔見知りの人たちが多くいて、障がいのあるスタッフたちの不安や負担が軽減されることだろうと思います。

森 その他に開店前には想定外だった出来事などはありましたか?

川上 障がいのあるスタッフたちのモチベーションが高いことで、自身の役割に対する意識も高いんです。その結果、大半の仕事が難しくこなせてしまうようなんですね。

森 それは良いことじゃないですか。



手作りクッキーやワッフルなど、おやつや軽食にピッタリのテイクアウトメニューが揃っている。またシフォンケーキやフロランタンなど種類も多い。



バイスは、障がいのある人たちに実際に使ってもらうまで、ゲームのプレイが可能かさえ分からないう状態だったそう。

同年の11月になり、i b a - s h o がオープンしました。利用者さんにデバイスを使ってもらったところ、結果は良好。ゲームに必要な操作性も問題なくクリアできたそうです。「初仕事を全うできて胸を撫で下ろしました」という中村さん。安堵するのと同時に「利用者さんが楽しそうにゲームをしている姿が見えたので安心しました」とも。

利用者さんたちからは、「今まで殆ど何も出来なかった自分がゲームをプレイ出来るようになって人生が180度変わった」と喜びの声を



聞くことが出来たのだとか。彼らの声の中村さんには堪らなく嬉しくて、仕事に強いやりがいを感じた瞬間でもあったと言います。

その後は、相互に密にコミュニケーションが取れるようにもなって、利用者さんたちからは「何かあったら相談してください」と言われるまでの関係になったと言います。最近では、中村さんが当初抱えていた不安はいつの間にか霧散したそうです。むしろ、今ではこの施設で仕事をするのが「心の支え」にもなっているのだと言います。

中村さん自身のこと、eスポーツのことにしても話を聞きました。

以前、女性だけのeスポーツチームに所属していたそうですが、それはゲームには男女の性差が無く、相手が誰であっても対等に競技ができることが魅力のスポーツであることを世間に知らしめたかったからだそうです。

「相手が誰であっても対等に競技ができるという意味では障がいのある人も同じ」だと中村さんは続けます。eスポーツは障がいの有無が対戦結果に影響を及ぼしづらく、障がい者も健常者も、努力次第で同じ条件で戦うことが不可能ではないスポーツであるとも彼女は感じたのだそうです。

「この施設の利用者さんたちは本当に良い人たちです。たくさん素敵な人たちに出会えたことは奇跡だと思います」



これは中村さんにこの職場で働いての感想を聞いた時の返答でした。

彼女の言葉は、障がい者・健常者という垣根を超えた、ある意味では当たり前で、しかし障がいについて考える上で最も重要な部分であると私は思い至りました。

中村さんと話していて、私は本誌に携わったばかりの頃を思い出しました。障がいについての知識の無さから不安に駆られ、一度は本誌での執筆を断ったこともありましたが、それが今では取材に行き、新たな出会いを果たせるということが日々の大きな楽しみともなっています。

私もまた一つ、素敵な出会いがありました。

つむぐ

～こえをきく～

障がい者の「声」を聞く

eスポーツのプロを養成するという珍しい取り組みを行う福祉施設「i b a - s h o」。ここで指導者として働く中村恭子さんにお話を伺って来ました。福祉の仕事はここが初めてだという中村さん。様々な刺激があり、自身の成長に大きく関わっているといいます。



iba-sho / One Game e-sports コーチ
中村 恭子さん
Kyoko Nakamura

取材・ライター
渡邊 希望
Nozomi Watanabe

取材・文 渡邊 希望 脚本家・俳優

1988年神奈川県生まれ。大学時代に現代小説を専攻。2015年に「劇団ショートホープ」を立ち上げる。俳優・脚本家だけでなく、演出家としても活躍し、音響も手掛けるなど、多岐に渡って才能を発揮する。ハイペースで脚本&演出をこなし、その舞台はいずれも好評と人気を博している。

中村さんはこの施設以外でも専門学校でeスポーツの講師などを務めており、自身もプログラマーとして活動しています。

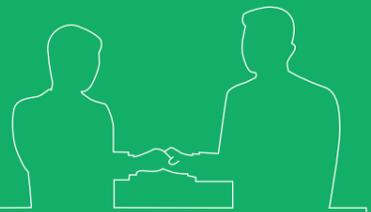
i b a - s h o は18年の11月に開所したまだ新しい施設です。中村さんは同施設の開所時から勤めていますが、それまでに福祉関連の仕事をしたことが無かったそうです。

中村さんに、ここで働き始めた当初の事について聞いてみました。「それまで障がいのある人たちと接する機会がほとんど無かったこともあって、自分に仕事が終わるのかどうかという不安がありました」この感想が返ってきました。

同施設の利用者さんたちの中には障がいによって手や指が不自由な人もいます。その人たちがeスポーツをプレイできるように、利用者さんたちの障がいの種類や度合いに合わせてゲームプレイ用のデバイス(道具)の調達も担当しています。「障がいに関する知識が自分に少ない中、障がいのある人たちにきちんとゲームをプレイさせてあげられるのか?」という不安を抱えていたそうです。

中村さんが用意したデバイスは、例えば身体が動かなくても口で啜って各種の操作ができるマウス。これを彼女自身も使ってみたそうですが、「カーソル位置の微調整などが思ったより難しかった」と言います。

eスポーツのゲームプレイには高いレベルの操作性と応答性が要求されます。彼女が用意したデ



障がい者と家族の法律問題

相続欠格と相続人の廃除



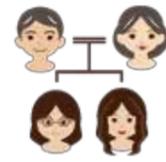
表参道パートナーズ法律事務所
弁護士／安部 晃平

1986年福岡県出身。2012年上智大学法科大学院修了。2013年弁護士登録。2016年より現職にて、中小・ベンチャー企業の労務管理、訴訟を中心に、各種企業法務を取り扱う。表参道パートナーズ法律事務所所属。

相続資格を失う場合もある 「相続欠格」とは何か？

前回は、遺言がない場合に誰が相続するかという法定相続人についてお話ししました。おさらいする。

- 1 子
- 2 直系尊属
- 3 兄弟姉妹



という順番で法定相続人が変わっていきますが、配偶者はこれらの人と同時に常に相続人となるということでした。

それでは、このように法定相続人が決まった場合、これらの人は必ず相続するのでしょうか。今回は、本来法定相続人になる人が相続資格を失

う「相続欠格」についてお話しします。

本来法定相続人になる資格がある人であっても、不正な行為によって相続を実現しようとしたり、相続を有利に進めようとした場合には、制約的な理由から、法律は、被相続人の意思や意向を問わずに当然に相続資格を失うことを定めています。これを相続欠格といいます。

具体的には、次の5つの欠格事由のいずれか一つにでもあたる場合は、相続資格を失うこととなります。

- 1 故意に被相続人又は相続について先順位若しくは同順位にある者を死亡するに至らせ、又は至らせようとしたために、刑に処せられた者。
- 2 被相続人の殺害されたことを知って、これを告発せず、又は告訴しなかった者。

者。ただし、その者に是非の弁別がないとき、又は被害者が自己の配偶者若しくは直系血族であったときは、この限りでない。

- 3 詐欺又は強迫によって、被相続人が相続に関する遺言をし、撤回し、取り消し、又は変更することを妨げた者。
- 4 詐欺又は強迫によって、被相続人に相続に関する遺言をさせ、撤回させ、取り消させ、又は変更させた者。
- 5 相続に関する被相続人の遺言書を偽造し、変造し、破棄し、又は隠匿した者。

これらの欠格事由がある場合は、何らの相続を経ることなく、当然に相続資格を失います。「当然

に失うところがポイントです。

そして、相続資格を失うと、その人が元々いなかったものとして、法定相続人が決定されます。

このような順番で法定相続人が変わっていきますが、配偶者はこれらの人と同時に常に相続人となります。

そして、実際に誰が法定相続人となるかは、被相続人が亡くなった際に戸籍を取り寄せて調査することになります。

被相続人の意思により失う 「相続人の廃除」について

続いて、相続資格を失わせるという点では相続欠格と同じですが、似て異なる「相続人の廃除」という制度についてお話しします。

相続人の廃除とは、被相続人の意思により、家庭裁判所が相続資格を失わせる制度です。被相続人の意思を尊重して相続資格を失わせるという点で、欠格事由があれば「当然に」相続資格を失う相続欠格とは異なります。

被相続人の意思を尊重するといっても、どんな場合でも被相続人が自由に廃除できるわけではありません。次の事由のいずれかに該当する場合には、被相続人が家庭裁判所に廃除を請求することができます。

- 1 被相続人に対して虐待をし、若しくはこれに重大な侮辱を加えたとき。
- 2 推定相続人（相続人となること）が予定されている人にその他の著しい非行があったとき。

このとおり、廃除は被相続人が家庭裁判所に請求することが必要ですが、どのように請求するのでしょうか。

請求の方法には、『被相続人が生前に自ら家庭裁判所に請求する方法』と、『遺言で廃除の意思』を示し、被相続人の死亡後に遺言執行者が家庭裁判所に請求する方法があります。

廃除の請求を受けた家庭裁判所は、被相続人の気持ちや、推定相続人の改心等の諸般の事情を総合的に考慮して、廃除事由に該当する事実の有無を審理し、廃除が相当かどうか決定します。そして、廃除を求める審判が確定するか、調停が成立したことから、廃除対象者は相続資格を失います。

廃除は被相続人の意思を尊重して相続資格を失わせる制度ですので、いったん廃除が認められた場合でも、被相続人は、いつでも自由に廃除の取消しを家庭裁判所に請求することができます。この請求は、廃除の請求と同様に、被相続人が自らすることも、遺言の中で意思を示してすることもできます。

このように、前回お話しした誰が法定相続人に

なるかという知識だけでは、実際に誰が相続するのか最終的には決まりません。相続欠格や相続人の廃除は一概に判断できるものではなく、欠格事由や廃除事由があるかは法的な判断が必要となります。

相続手続を進めた後で、実は遺産を相続した人が相続人ではなかったということが判明した場合、相続手続のやり直しになる等、とても重大な問題が生じます。

そのような問題を避けるためにも、相続が発生したら早めに近くの弁護士等に相談してみてください。

法律相談を募集しています

読者の皆さんの「弁護士に相談したい」と、「障がいの当事者または家族であるが弁護士に聞いてみたい」などを法律相談を募集しています。詳細は28ページにある「法律相談募集要項」を参照してください。

なお、相談の内容は、個人が特定できない形で回答とともに記事として掲載させていただく場合があります。また、全ての相談に対して回答できるものではないことを、予めご了承ください。

※本募集は一般財団法人メルディアが行うものであり、表参道パートナーズ法律事務所とは直接の関係はありません。



履歴書

令和元年 5月1日現在

ふりがな 氏名	あゆは ひろし 阿由葉 寛	ローマ字表記 Hiroshi Ayuha
生年	昭和32 (1957) 年 7月 9日生	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女



出身地	栃木県足利市	趣味	旅行、温泉、孫
-----	--------	----	---------

家族構成	本人、母、妻、長男、長女、次女、次男、孫8人	賞 罰	栃木県知事表彰、全国社会福祉協議会会長表彰 御下賜金授与(※) <small>※社会福祉法人足利むつみ会名義</small>
------	------------------------	-----	--

役職・公職など
社会福祉法人足利むつみ会・理事長、社会就労センターきたごと・管理者、
全国社会就労センター協議会(セルフ協)・会長、栃木県社会就労センター協議会・会長、
社会保障審議会障害者部会委員、足利市ボランティア協会・会長、他

年	月	学歴・職歴
昭和55年 (1980)	3	淑徳大学卒業
"	4	足利作業所入職
昭和59年 (1984)	12	社会福祉法人足利むつみ会設立
昭和60年 (1985)	4	知的障害者通所授産施設「きたごと学園(現・社会就労センターきたごと)」開所
平成22年 (2010)	9	peterpan 店舗移転オープン
平成24年 (2012)	4	多機能型事業所「セルフ絆」開所
平成26年 (2014)	4	「ふくい保育園」開園
"	12	「キッズピアあしかが」開所



peterpan



キッズピアあしかが

※役職などは取材時のものです

ひと 個人の「歴史」から探る障がい福祉

第1回

社会福祉法人
足利むつみ会
理事長・阿由葉 寛さん

ひと

PERSONAL HISTORY パーソナルヒストリー



社会福祉法人 足利むつみ会
栃木県足利市利保町49-4
TEL / 0284-43-0414
<http://www.mutumikai.ecnet.jp/>



昭和から平成、そして「令和」へと元号は移り変わった。時代の変遷、社会的需要の高まりから、障がい者を取り巻く法律や制度、環境などは然るべく整備されて来た。但し、「整備されて来た」とはいえ、そこには「過去に比べて」という接頭辞が印加されているのが現状だろう。整備の名の下に確実に改善されたものもあれば、そうでないものもある。

本誌では改元を機に、障がい福祉に携わって来た人たちの「歴史」を紐解き、福祉とはいかにあるべきかを改めて考える企画「ひと / PERSONAL HISTORY」をスタートした。記念すべき第1回目として、社会福祉法人足利むつみ会の阿由葉寛さんを取材した。

大学卒業後に入職した場所は
両親が兄に建てた福祉作業所

編集部 阿由葉さんが福祉の仕事に携わった経緯から聞かせてください。

阿由葉 私の兄がダウン症で、両親が兄のために作業所を作ったので、大学卒業後にそこに入職したのが始まりです。その後、両親と共に現在の社会福祉法人を設立しました。

編集部 現在では多くの福祉事業を手掛けていますが、その前身が作業所だったわけですね。

阿由葉 障がいのある人たちが仕事をする場が昔は少なかったんですね。まずは知的障がいのある人たちが働ける作業所を作り、そこを拠点にしながら社会福祉法人を作り、次第に他の施設も作っていきました。

編集部 ご本人だけでなく、ご家族やご親族の多くの人が障がい福祉・社会福祉の仕事に携わっているとお聞きしていますが？

阿由葉 私たち夫婦、子どもたち、その配偶者などの多くが福祉事業に従事しています。福祉の仕事をするのを皆に強要したわけではないのですが、子どもたちにとってみれば、生まれた時から自分の周囲に障がいのある人たちが大勢いたわけですから、「障がい」を何ら特別なことだと思っていなかったんだろうと思います。「気付けば家族の多くが福祉事業に携わっていた」という表現が正しいかもしれませんね。

募集&告知

各種募集と告知

布施博または大矢真那が取材に向う「訪問先」を募集しています。また、当財団に対するご支援とご協力をお願いを掲載しています。

法律相談を募集 弁護士が相談を承ります

Recruitment

読者の皆さんや障がいの当事者またはご家族の人たちが弁護士に相談したい事、聞いてみたいことなどがありましたら当誌の事務局まで住所、氏名、連絡先、相談概要などをお送りください。本件の法律相談は無料で行います。

【必ずお読みください】

- ※応募に際しての記載事項などは個人情報保護の観点に則り、本件以外には一切使用いたしません。
- ※本誌に掲載させて頂く場合、個人を特定できない匿名の相談内容として記事にいたします。
- ※相談の受任可否についてはお答えすることができません。
- ※全ての相談に対して回答するものではありません。

氏名、連絡先、相談概要などを以下に記載の住所またはメールアドレスまでお送りください。

■応募先/郵送の場合

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア事務局/法律相談係宛て

■応募先/Eメール

MAIL:org@gf-meldia.com
※件名(Subject:)に必ず「法律相談」とご記入ください

お便り募集!

あなたが知りたいことを あなたに代わって編集部が調べます

読者の方々が障がいに関して「知りたいこと」、「疑問・質問」、「法的な情報」、「扶助情報」などをみなさんに代わって編集部が調べ、取材し、記事にしたいと思えます。「こんなことを調べて欲しい」、「こんな情報があるが詳細が知りたい」など、どんなことでも構いません。左ページに記載の「一般財団法人メルディア事務局」まで、メールまたは郵便にてお送りください。

※お寄せいただくご要望の全部にお応えすることはできません。また、掲載する記事に関してはメルディア事務局ならびに編集部にて選択させていただきます。予めご了承ください。



一般財団法人メルディアへのご支援とご協力を募集

障がいのある子供を持つ親の苦労や将来への不安は、他の人には計り知れないほど大きなものがあります。さらに、それが寡婦・寡夫家庭であった場合、経済的な負担、苦労、不安なども一人で背負わねばならない状況に置かれることもあります。

私たち「一般財団法人メルディア」は、会報誌「月刊メルディア」を通じて、誌上に厳選した有益な情報を掲載することで、周囲との情報交換もままならず不安を抱える人たちの情報源として、その一助となれることを目指しています。

私たち「一般財団法人メルディア」の活動に対するご支援(取材協力・協業の相談・各種支援・支援金・寄付)など、当財団の趣旨に賛同してご協力を頂ける企業・団体・個人を募集しています。下記にある当財団の事務局までご相談ください。

お問い合わせとご相談はこちら 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア事務局/担当:後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか)宛て
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com



ホームページと Facebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話など、情報が盛りだくさん! Facebookページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



MELDIA <https://meldia.org/>

facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



PERSONAL HISTORY

足利むつみ会 / 阿由葉寛

PERSONAL HISTORY



編集部 障がいのある人たちに向けた福祉事業所の他に、特別養護老人ホーム(以下、特養)や、保育園、パン屋さん(Peterpan)、それと以前に本誌で布施博さんが取材したキッズピアあしかが(屋外型遊技施設)など多岐に渡って運営されている理由は何ですか?

阿由葉 当法人には「多様な福祉サービスを総合的に提供できるように創意工夫をする」という理念があります。障がいのある人や高齢者などの、いわゆる「社会的弱者」の人たちに向けた事業だけでなく、地域の(地元の人)たちが必要とすることを何でもやってみよう。その結果の「特養」と「保育園」ということになりました。「Peterpan」は就労継続支援事業B型、「キッズピアあしかが」は就労継続支援事業A型の施設としても機能しています。

編集部 利用者さんたちは、そこで働くことで工賃を得られるというわけですね。

阿由葉 そうです。全国平均の工賃が1万5千円前後と言われているのですが、「Peterpan」では全国平均の倍以上の工賃を利用者さんたちに支払うことができます。

編集部 以前の取材で「利用者さんたちに出るだけ多くの工賃を払えるようにアイデアを凝らしている」という発言がありました。

阿由葉 例えば、機密文書の裁断と処理など、他の事業所ではあまり例がない作業をやっています。アイデアを凝らすというよりは、いかに高い工



「休日には8人の孫と一緒に過ごすのが楽しみ」と話す阿由葉さん。スマホに保存した画像を我々に見せる姿から家庭人としての素顔も垣間見る事ができた。

賃を支払えるようにするかを考えること、障がいのある人たちの個性や特長から、作業の適性を見極めてあげることが福祉事業に携わる私たちの仕事であるはずなんです。

編集部 本来はそうあるべきですが、近年の法改正によって一般の企業が福祉事業に参入するのを許されたことで、事業者の数が多くなり過ぎていく傾向にあると言われています。結果、サービスの質の低下が懸念されているという現状についてはどう思われますか?

阿由葉 憂慮すべき所ですね。利用者さんたちに対するサービスの質を上げるために恒常的に努力をする。アイデアを絞るのが福祉事業を行う者の使命なんだと思いますから。

取材&文/森清香



おいしいパンとクッキーの店・peterpan
栃木県足利市元学町830-13
TEL / 0284-41-3291
<http://www.mutumikai.ecnet.jp/peterpan/peterpan.html>



キッズピアあしかが
栃木県足利市朝倉町2-21-16 ヨークタウン足利2F
TEL / 0284-64-8650
<http://www.mutumikai.ecnet.jp/kidspia/index.html>





湘南ベルマーレ

ホームゲーム観戦チケットプレゼント



©湘南ベルマーレ

■ホームゲーム一覧

開催日	キックオフ	対戦相手	申込メ切
6/30 (日)	19:00	セレッソ大阪	6/16 (日)
7/14 (日)	19:00	ヴィッセル神戸	6/30 (日)

療育手帳・精神障害者
保健福祉手帳をお持ち
の方と、介添者の方1
名を湘南ベルマーレの
ホームゲームに抽選で
ご招待いたします！

■応募から観戦までのステップ

STEP 1

応募

HPの応募フォームへ
必要事項をご入力



応募フォーム
はこちら

<https://meldia.org/present/>

ホームページからも応募できます
財団 メルディア 🔍 検索

STEP 2

メール

応募完了メールが
届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方は「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話ください。よろしくお願いいたします。

STEP 3

抽選

当選者へチケットを
お送りします

当選者の方へ当選メールを送信後、応募フォームにご入力頂いた住所宛にチケットをお送りいたします。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

STEP 4

観戦

スタジアムへGO！

チケットに記載のゲートよりご入場ください。どうぞ観戦をお楽しみください！



※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。あわせてご了承ください。

ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレ HP をご覧ください



JR 東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行



圏央道寒川南 I.C. より湘南銀河大橋、国道 129 号線経由で約 15 分 (国道 129 号線に随時「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

■お問い合わせ先■

〒243-0292 神奈川県平塚市さきさか
一般財団法人メルディア 事務局 担当：後藤・鷺坂
TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日～金曜日 9:30～18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承ください。

19 MELDIA CONTENTS 2019 JULY

01 | 障がい者を応援

Social Cafe Sign with Me / 東京都文京区

06 | 一般財団法人メルディアとは？

メルディアの基本理念、財団概要、支援事業

07 | 布施博が訊く

ゆたかカレッジ横浜キャンパス / 東京都新宿区

11 | MELDIA Café #3

第3回MELDIA Café開催詳報

15 | 水越けいこ連載「M size / はじまり」

水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る

17 | 障がい者就労支援施設探訪

hikari no café大田原市庁舎店 / 栃木県大田原市

21 | つむぐ ～こえをきく～

脚本家・渡邊希望が障がい者や関係者の「声」を聞く

23 | 弁護士が教える「障がい者と法律」

表参道パートナーズ法律事務所 / 弁護士・安部晃平

25 | ひと - PERSONAL HISTORY -

社会福祉法人足利むつみ会・阿由葉寛さん

28 | 募集と告知

各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

月刊MELDIA17号に掲載の「日本ソーシャルフットボール協会」様の取材記事内に掲載の写真に「真庭大典監督」とありますが、真庭大典様とは別の方の写真でした。改めて真庭大典様の写真を掲載させて頂いて訂正すると共に関係各位に対して謹んでお詫び申し上げます。(編集部)



真庭大典監督

月刊MELDIA Vol.19 / 2019年5月25日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア事務局
 発行人 / 小池信三
 事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章
 編集 / 株式会社サン・オフィス
 編集人 / 東宮恵美
 編集長 / 山口慎市
 進行 / 東宮恵美、山口慎市、谷田貝亘介
 編集部 / 東宮恵美、村田保則、都筑亮太、渡邊希望
 ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、安部晃平、山口慎市、渡邊希望、横関寿寛、大橋はるか、森清香

カメラマン / 吉岡晋 (PMJ)
 ヘアメイク / 関谷佳代子 (Dharma)
 デザイン / 有限会社フレッシュャー・アド
 印刷製本 / QREAS株式会社
 協力 / MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計、
 一般社団法人ありがとうの種、Social Cafe Sign with Me、
 株式会社ゆたかカレッジ、ゆたかカレッジ横浜キャンパス、
 社会福祉法人エルム福祉会、hikari no café大田原市庁舎店、
 大田原市、大田原市保健福祉部福祉課障害支援係、
 株式会社ワンライフ、iba-sho、One Game、
 社会福祉法人足利むつみ会、阿由葉寛、阿由葉弘美、阿由葉洋平、
 表参道パートナーズ法律事務所、
 株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、
 株式会社PHOTO MIO JAPAN、株式会社Dharma

※敬称略/順不同

本誌の無断転載・複製を禁じます

2017-2019 © All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア / 月刊MELDIA
 MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 / 株式会社サン・オフィス

次号予告

MELDIA VOL.20

2019年6月25日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632
 東京都新宿区西新宿 1-25-1
 新宿センタービル 32F

一般財団法人メルディア 事務局

TEL: 03-5381-3213

MAIL: org@gf-meldia.com



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation